

平成26年度 入札監視委員会議事概要

陸上自衛隊北部方面隊

| | |
|---------|--|
| 開催日及び場所 | 平成26年12月2日(火) 北海道防衛局4階会議室 |
| 委員 | 阿座上委員長(地域経済研究所 理事長) 神谷委員(札幌医科大学 客員教授) 木下委員(監査法人銀河 理事長) 津田委員(ほくと総合法律事務所 弁護士) |

契約実施機関が締結する契約に関する審議

陸上自衛隊北部方面隊

| | |
|--------|------------------------|
| 審議対象期間 | 平成25年4月1日 ~ 平成26年3月31日 |
| 審議対象件数 | 30,403件 |

1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

| 抽出件数 | 10件 | (審議概要) |
|---|--|--|
| 一般競争契約 | 10件 | <ul style="list-style-type: none"> ・陸自担当者から契約状況の説明 ・対象案件より抽出された10件の概要について陸自担当者が説明後、委員会による審議 |
| 指名競争契約 | 0件 | |
| 随意契約 | 0件 | |
| 意見・質問 | 回答 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等 | <p>【抽出案件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般競争 ①〔陸上自衛隊北部方面隊広報紙〕 <ul style="list-style-type: none"> ・過去5年分の同種案件において単価の違いがあるが何故か。 ・1枚当たりの単価は同じ水準になるか。 ○一般競争 ②〔#4隊舎浴場他顕熱交換機取付工事〕 <ul style="list-style-type: none"> ・顕熱交換機取替工事は特定の1者しかできない内容か。 ・1者しか参加しなかった理由をどう考えているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、仕様が違うので、単価が異なる。 ・年度によって広報紙の内容により仕様が変わるので同じにはならない。 ・他社でも可能である。 ・聞き取り調査等を実施していないので推測だが、他の受注工事との兼ね合いや技術者等の確保の問題があったと考えている。 |

| | | |
|--|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格算定に当たっては、受注者のみから見積書を徴取したのか。 ・ その社が入札に参加しなかったのは何故か。1 者応札を避けるため、複数者が入札に参加できるよう努力してほしい。 <p>○一般競争 ③〔給食業務請負役務ほか〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 者しか参加しなかったのは何故か。 ・ 昨年度の落札業者が参加しなかったのは何故か。 ・ 他の 1 者が参加しなかったのは何故か。 <p>○一般競争 ④〔給食業務部外委託役務〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食業務を受託できる業者は何社くらいあるのか。 ・ 5 月から 10 月までの間が履行期間とされないのは何故か。 ・ 見積書は 2 社から徴取したのか。 <p>○一般競争 ⑤〔給食業務部外委託及び食器洗浄・清掃作業請負役務〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見積書の徴取に当たっては、何社に依頼し、何社が応じてくれたのか。 ・ 過去の案件を見ると分けて入札するのと纏めて入札するのがあるが何故か。 <p>○一般競争 ⑥〔切込砂利ほか〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去の案件の半分くらいが落札率 100%になっているが、どうしてこのような現象が起きるのか。 ・ これを防ぐにはどうしたらいいのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ もう 1 者からも徴取した。 ・ 聞き取り調査を行っていないので、詳細はわからない。 ・ 現場説明会には 2 社が参加し、入札にも参加する予定だったが都合により 1 者が参加できなかったと聞いている。 ・ 北海道に支店を持たなくなったからである。 ・ 電話で確認したところ、業者側の判断で参加しなかったとのことである。 ・ 5 社くらいある。 ・ 冬季訓練の期間に使用する宿舎における業務だからである。 ・ 5 社に見積を依頼し、2 社が応じてくれたものである。 ・ 4 社に依頼し、1 者が応じてくれた。 ・ 25 年度は一括で、24 年度以前は分けて発注した。その理由はスケールメリットによるコスト低減が狙いであったが、入札結果として効果が見られなかったので、26 年度は分けて実施した。 ・ 前回の契約価格を実例価格を参考として予定価格を算定しているからである。 ・ 近傍駐屯地の契約価格を参考にしたり、業者から見積書を徴取することを検討する。 |
|--|---|--|

| | | |
|---------------------------|---|--|
| | <p>○一般競争 ⑦〔重油ほか〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入は1か月単位か。 ・過去における入札の際の落札率にばらつきがあるのは何故か。 <p>○一般競争 ⑧〔給食業務部外委託請負役務〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この案件についての問題意識はあるか。 ・過去もずっと防衛弘済会がやっているのか。他に業者が見つからないのであれば、随意契約を行う方法もある。 ・食材、献立も含めて受注すると業者にとって魅力的な案件になるのではないか。 <p>○一般競争 ⑨〔磁気共鳴断層撮影装置（画像観察装置）保守点検〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約方式は条件さえ満たせば一般競争と随意契約のどちらでも採用できるのか。 <p>○一般競争 ⑩〔技能訓練（警備員検定施設警備業務第2次事前講習・警備員特別講習）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他に請負ことができる業者はいなかったのか。 ・落札率が100%となったのは、前年度の予定価格を使ったからか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・3か月に1回くらいである。 ・5社以上から見積書を徴取して最低価格を採用しているからである。 <ul style="list-style-type: none"> ・地元の業者が少ないことである。 ・そうである。 ・献立は栄養摂取基準に基づき栄養士が担当していることから食材と献立を併せて発注することはできない。 <ul style="list-style-type: none"> ・そうである。25年度は公募からの契約方式の選定ができなかったが、来年度からは実施する予定である。 <ul style="list-style-type: none"> ・金額の折り合いがつかなく入札に参加してもらえなかった。 ・前年度の実例価格と業者見積とを基に予定価格を算定している。 |
| <p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p> | <p>特になし。</p> | |